

2025年12月22日(月)

老球の細道900号

バスケットボール誕生日にU-12 ウィンターカップ磐梯ミニ初優勝!

会津バスケットボール協会 室井富仁

12月21日(日)会津で開催されているU-12 ウィンターカップ県大会を観戦して帰つて来た孫たちに偉そうに話した。「今日はバスケットボールの誕生日だよ」。孫たちは驚きもしないですぐに返答した。「知っているよ。午前中の練習前ミーティングで佐藤公希コーチが話してくれたもん」。

城北行仁ミニの佐藤コーチはさすがであった。ただバスケットボールのプレイやスキルを指導するだけでなく、バスケットボールの歴史まで教えながら指導することでバスケットに対する愛着が深くなることを理解している。バスケットボールの原点に返ることや国と国の対立を回避することなどでも、機に応じて歴史を振り返ることが大切だと思う。

今から134年前の1891年12月21日、アメリカはマサチューセッツ州スプリングフィールド「YMCA 国際トレーニングスクール」で世界初のバスケットボールの試合が行われた。当時は9人対9人でゲームが行われ、その中のプレイヤーの1人に日本人留学生・石川源三郎という人がいた。このゲームを考案したのはカナダ人の教師ジェームス・ネイスミスである。世界中から留学して来た学生たちが体育の授業を喜んで活動できるように、ラグビー、サッカー、ラクロス、水球などあらゆるスポーツを参考に創案したのがバスケットボールであった。体育の授業をさぼる学生がいたおかげでバスケットボールが誕生し、今やサッカーと並ぶ世界最高のスポーツに成長してきたのである。

折しも、クリスマスよりも早くケーキを食べなければいけない「ハッピー・バースデイ・バスケットボール」の日に会津地区ではU-12 ウィンターカップ県大会決勝戦が行われていた。私は都合があって観戦できなかったが、孫達から男子は会津地区磐梯ブラックダイヤモンズが優勝したことを聞いた。会津地区としては5年前の塩川ミニバス以来の優勝である。ここ数年、ミニから中、高校とわが会津地区はどのカテゴリーでも県大会の上位に進出できず不調が続いていたが、ここに来て久しぶりに会津地区に一筋の光を与えてくれた。

磐梯ブラックダイヤモンズは地区大会から抜群の実力を発揮し、プレスディフェンスからトランジションオフェンスが素晴らしい。県大会の予選リーグでは危ないゲームがあつたが、粘り強くチームスタイルを貫き、流れをつかむと一気にたたみこむ実力はさすがであった。他の地区の強豪チームなどをボンズの前座試合で何度か見たが、磐梯と比較すると、もしかするともしかかもしれないという予感がした。そして予感が的中した。

磐梯ミニはこれから3月の全国大会に向けて再度仕切り直しをして準備してほしい。全国大会は3Pルールなどが加わり、ルールに対する対応も大変である。チーム名の「ダイヤモンズ」のようにチームはダイヤモンドの原石が満載である。まだまだ成長するだろう。

時代の魁が登場すれば、必ずそれを追い、それを乗り越える者が現れるのは歴史の必然。これからの会津地区バスケットボールが楽しみである。